

高二 古文

第十四回 小テスト

出題範囲 古文文法 助動詞

注意事項

- ① 質問があれば高木まで。
- ② 終了したならば、
提出して帰る。
- ③ 私語・カンニングは未受験。



STUDY COLLABO®

単語・文法小テスト

氏名

点数

1 次の傍線部を現代語訳せよ。

1 雪は道も見えず降るめり。
(讃岐典侍日記)

2 鏡に色・かたちあらましかば、うつらざらまし。
(徒然草・二三五)

3 かかる雨なれば、「口惜し」と嘆かせたまふ。
(落窪物語)

4 女子のためには、親、幼くなりぬべし。
(土佐日記)

5 落ち入る兵 千余人、浮きぬ沈みぬ流れ行く。
(太平記)

5

6 験なき物を思はずは一坏の濁れる酒を飲むべくあるらし
(万葉集・三三八)

7 妻の嫗にあづけて養はず。
(竹取物語)

7	6	4	3	2	1
〔	〔	〔	〔	〔	〔
〕	〕	〕	〕	〕	〕

8 誰もたれみな、あのやうでこそありたけれ。
(平家物語・祇王ぎわう)

9 火数ひかず多く見えば、敵恐かたきれて用心してんず。
(平家物語・逆櫓さかろ)

10 まろ、この歌の返しせむ。
(土佐日記)

8

〵

〵

9

〵

〵

10

〵

〵

解答

1

〔ようだ〕

〔たならば〕

〔お嘆きになる〕

〔きつと〕

〔たりくんだりして〕

〔ないで〕

〔せる〕

〔ありがたい（ことだ）〕

〔だろう〕

〔よう〕

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1